

差上申一札之事

○一兼日被ニ仰出候通、大小之百姓五人組を究置、
何事ニよらす五人組之内ニ而、御法度相背候儀者
不レ及ニ申上ニ、悪事仕候もの有レ之候ハヽ、其組より早速
可ニ申上ニ候、若隠置臍より申出候ハヽ、其者ニハ品により
御褒美被レ下、五人組之もの・名主共ニ曲事ニ可レ被ニ
仰付ニ旨奉レ畏候、悪事仕候もの申上候ハヽ、自然同類・
親類・縁者杯、後日ニあたをなすべきと氣遣ニ存候ハヽ、

隱密に可ニ申上ニ由、是又奉レ畏候、諸事致ニ吟味ニ
聞出次第、御注進可ニ申上ニ候、并臍百姓・家抱・前
地・店之者ともに五人組を極、判形取置可レ申候、
若五人組ニ外れ申候もの御座候ハヽ、名主・組頭
曲事ニ可レ被ニ仰付ニ候事

○一御年貢之儀一件者不レ及レ申、惣而金銀米錢
手形なしに取引仕間敷事

附り、縦初之物ニも證文取引可レ申事

○一御支配人・添役衆、惣而御家中之衆中迄、名主・百姓ニ
対シ依怙扇扇御座候歟、又者少分たり共、非分
成儀御座候ハヽ、無ニ遠慮ニ可ニ申上ニ事

○一諸役入目之儀、毎年一村江入目帳式冊宛、御支配

人より合印被レ成ニ御渡ニ候間、諸役入目之品々、当座明細ニ
付置、名主・年寄・百姓致ニ印形ニ、名主方江一冊、百姓方江
一冊差置、年切ニ勘定究、互ニ無ニ出入ニ様ニ可レ仕事

○一名主・百姓印形之儀、自分ニ而替申間敷候、若取落候歟